

IBM AI OpenScale

以下に記載される場合を除き、IBM Cloud の「サービス記述書」の条件が適用されます。

1. クラウド・サービス

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM AI OpenScale

IBM AI OpenScale は、企業が AI の価値を実現できるように、エンタープライズ級の運用およびランタイム環境を提供します。IBM AI OpenScale は、バイアス検出や AI モデル実行の説明可能性などのエンタープライズ要件と共に、IT 運用および事業部門のユーザーが AI モデルをビジネス・アプリケーションに統合できるようにする機能を提供します。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

このサービスに適用される「データ・シート」および本条の条件には、このサービスの使用についての詳細および条件が規定されています。これには、お客様の責任が含まれます。以下の「データ・シート」が本サービスに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=DA168900911911E8A5E6A380334DFF95>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

基本の IBM Cloud の「サービス記述書」に定められているサービス・レベル・アグリーメントが、このサービスに適用されます。

3.2 テクニカル・サポート

基本の IBM Cloud の「サービス記述書」に定められているサポート用語が、このサービスに適用されます。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「アイテム」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生することをいいます。

5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日より前に締結されるクラウド・サービス契約書(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 フィードバック

お客様は、IBM が IBM Watson を拡張するよう提案できます(「フィードバック」)。お客様には「フィードバック」を提供する義務はなく、IBM はお客様が提供するすべての「フィードバック」を自由に使用できます。

6. オーバーライド条件

6.1 データの利用

両当事者間の「クラウド・サービス」基本条件の「コンテンツおよびデータ保護」項にいかなる矛盾する規定があっても、以下の条件が優先します。IBMは、お客様の「クラウド・サービス」の利用によって生まれるお客様の「コンテンツ」に固有のものである結果（「洞察」）や、お客様を特定できる結果を利用したり開示したりしません。ただしIBMは、「クラウド・サービス」の一環として、「コンテンツ」および「クラウド・サービス」を提供する過程で得られた「コンテンツ」に由来するその他の情報（「洞察」を除きます。）を、調査、テスト、および「クラウド・サービス」関連のオファリングの開発のために使用します。

6.1.1 オファリングの構成

お客様は、「クラウド・サービス」のグラフィカル・ユーザー・インターフェースの管理領域内の指定された制御手段を使用して、「クラウド・サービス」を構成することにより、「データの利用」セクションに概要が記載された目的でお客様の「コンテンツ」を使用しないようにIBMに指示することができます。お客様が「クラウド・サービス」のグラフィカル・ユーザー・インターフェースの管理領域内の指定された制御手段を使用して、IBMにお客様の「コンテンツ」を使用しないように指示した場合は、IBMは、「クラウド・サービス」の将来のプロビジョニングにおいてその指示に従い、当該送信に関連するお客様の「コンテンツ」を使用しないものとします。ただし、IBM Cloudの「サービス記述書」に従って別途許可される場合は除きます。